

私のすすめるこの1冊

郷間英世 (発達障害科 教授)

『女は人生で三度、生まれ変わる — 脳の変化でみる女の一生』

ローアン・ブリゼンディーン 著 吉田利子 訳

この本の表紙裏には「女性は1日に2万語使うが、男性は7000語」「男性はほぼ1分ごとにセックスについて考えるが、女性は1日に1度」「女性は熟年期にはエストロゲンの急減で人の世話をやいたり人につくす意欲が低下するため、50代以上で離婚を言いだすのは女性の方が多い」と書かれている。

著者のブリゼンディーン女史は、神経精神科医としての臨床経験をもとに、分子神経科学や神経ホルモンなどの最新の成果を加えながら、女性の特性とそのライフサイクルについて男性との違いを示しながら説明する。

まず脳科学の知見から、男性脳と女性脳の相違について述べる。危険に対する警報システムで闘争本能と関係する扁桃核や性的欲求を司る内側視策前野は男性が大きく、他者への共感を司るミラーニューロンシステムや衝動をおさえ意志の最終判断をする前頭前野は女性のほうが大きい。そしてそれらの性差は胎児期からの性ホルモンによりつくられると。脳の働きは子どもの行動にも影響する。乳幼児期に分泌される女性ホルモンは言語と感情に関する脳の回路を強化し、女兒の言語能力や人間関係のスキルを男児よりも2、3年早く発達させる。その結果、男児は譲り合ったり順番を守るより取っ組み合いを好むが、女兒は他人の面倒を見たり世話を焼いたりといったごっこ遊びを好む。

さて、女性は10代に性的魅力や恋愛への関心が強くなる「思春期」へ突入する。1回目の生まれ変わりである。性ホルモンの周期と関連したストレスに敏感な時代で、コントロールできない涙や怒りの感情、

不安、衝動的な行動がしばしばみられる。生まれ変わりの2回目は「母親期」である。遺伝子に埋めこまれた母性は、妊娠出産に伴うホルモン変化により活性化され、わが子との親密な身体接触によって強化される。母性とは他の誰かが、悲しい時や絶望しているとき、自然にそばにいてやろうとする慈しみを持った行動である。そして3回目は「熟年期」である。母性の源であった女性ホルモン分泌は閉経とともに低下し女性は生まれ変わる。三人の子どもの育児をしてきた54歳のシルヴィアは「どうしてわたしの人生はこんなふうなのでしょう？ わたしだって、もっと自分らしい人生を送りたいんです！」そして、離婚を決意し大学院で社会福祉を学び始め、ガレージにアトリエを作って絵を描きだす・・・。

本書に述べてある行動や役割の男女差について、以前は社会化の産物と考えられていた。しかし最近の脳科学の成果は学校教育にも影響を及ぼしつつある。アメリカでは公立小学校でも男女別学の教室を選択できるシステムが広まりつつあるという。教育関係者にもぜひ一読してほしい本である。

この本には著者の続編がある。「男脳が作るオトコの行動54の秘密(原著 The Male Brain)PHP研究所」で、原著が出たのが2010年であるのに訳本も同年4月出版という速攻さである。男性の脳やその行動に関心がある方に勧めたい。

『女は人生で三度、生まれ変わる
— 脳の変化でみる女の一生』

ローアン・ブリゼンディーン著 吉田利子訳

発行所: 草思社 発行年: 2008年

ISBN: 9784794216656

購入手続き中

図書館からのお知らせ

ミニ企画展 「写真の歴史」

附属図書館にて、ミニ企画展「写真の歴史」を開催します。
本学美術科の安江勉先生にご協力いただき、先生の写真作品や、図書館所蔵の写真集をご紹介します展示です。写真集を通じて、写真の歴史を知る旅に出ませんか？

期間：平成24年1月26日(木)～2月14日(火) ※休館日を除く
時間：図書館の開館時間と同様
場所：附属図書館1階ロビー

「図書館リクエストウィーク」が終了しました

たくさんのリクエストありがとうございました

11月14日(月)から11月28日(月)にかけて、「図書館リクエストウィーク」を実施しました。期間中には、約100点のリクエストをいただきました。たくさんのリクエスト、誠にありがとうございました。

リクエストしてもらった図書は、絶版等で入手不可のものを除き、ほぼ全点購入できます。また、推薦者のコメントをつけて図書館ロビーに展示しますので、ぜひご利用ください。

図書館では、来年度もリクエストウィークを実施する予定です(時期未定)。次回もぜひ積極的にリクエストしてくださいね！

読みやすいものから
専門的なものまで、
たくさんそろっていますよ♪



***** 春季休業に伴う長期貸出について *****

下記のとおり長期貸出をしますので、ご利用ください。

対象	院生・教職員	学部生
貸出期間	2012年1月16日(月) ～2012年3月14日(水)	2012年1月28日(土) ～2012年3月28日(水)
貸出冊数	12冊	7冊
返却期限日	2012年4月11日(水)	

*視聴覚資料は除きます。

*長期貸出図書の貸出更新(延長)はできません。一度返却してから翌日以降貸出の手続きをとってください。

*一般利用者・卒業生の方の長期貸出はできません。

情報検索・データベースのご案内

検索



統合検索（EHIS）の無料トライアル実施中です（学内限定）

2012年1月末日まで、EBSCOが提供する統合検索（EHIS）の無料トライアルを実施しています。研究・学習にぜひご活用ください。

※学内限定です。利用にはID（メールアドレス）とパスワードの入力が必要です。

検索可能なデータベース

- ①CiNii（国内論文）
- ②ScienceDirect（Elsevier社提供の海外電子ジャーナル）
- ③Google Scholar（学術情報専用サーチエンジン）
- ④EBSCOhost（海外論文。Academic Search Premier, PsycINFO）

MathSciNetが2012年1月より利用できます（学内限定）

MathSciNetとは、米国数学会が提供する数学文献のデータベースです。学術雑誌2800誌、書誌情報260万件を収録しています。附属図書館のトップページからリンクしていますので、ぜひご利用ください。



*** 節電実施中です ***

附属図書館では、冬の電力不足に備え、学習に支障のない範囲で照明を調節するなどの節電対策を実施中です。ご協力よろしくお願いたします。

～ 図書館開館スケジュール ～

2012年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
休	休	休	休	▲	●	▲
8	9	10	11	12	13	14
休	休	●	●	●	▲	休
15	16	17	18	19	20	21
休	●	●	●	●	●	▲
22	23	24	25	26	27	28
休	●	●	●	●	●	▲
29	30	31				
休	●	●				

2012年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
			●	●	●	▲
5	6	7	8	9	10	11
休	●	●	●	●	●	休
12	13	14	15	16	17	18
休	●	●	●	●	●	▲
19	20	21	22	23	24	25
休	●	●	●	●	●	休
26	27	28	29			
休	●	●	●			

<カレンダーの見方>

日付	9:00～21:00
●	
日付	9:00～17:00
▲	
日付	休館日
休	

1月1日(日)～1月4日(水)は休館

1月13日(金)は大学入試センター試験の準備のため17時閉館

1月14日(土)は大学入試センター試験のため休館

2月25日(土)は大学入試前期試験のため休館

鬼ごっこ・隠れんぼにおける「わざと捕まる」違反行動の発達の残存性

加用文男

加用文男(幼児教育科 教授)

京都教育大学紀要 No.119 pp.87-98. 平成23年9月

鬼ごっこや隠れんぼのようなルールのある遊びでは、ルール重視の立場からどの年齢になるとどういうルールを守れるようになるかといった研究になりがちで、違反や逸脱やインチキのような振る舞いはほとんど研究されません。本研究は保育士達を調査対象として、わざとオニに手を出してタッチしてもらおうとしたり、隠れんぼで自らオニの前に「ばあ」と姿を現すような逸脱行動が2, 3歳の幼い子どもたちに特有な振る舞いではなく、年長5, 6歳児にも日常的に観察される現象であることを示そうとしたものです。結果は予想通りでしたが、このような逸脱行動が年長児でも見られる理由については二つの仮説が考えられます。オニ役割魅力説と感情交流の対立成分の残存性という仮説です。前者は分かりやすいでしょうから後者について触れますと、これは追われるから逃げたくなる、逃げる相手がいるから追いかけてたくなる、あるいは(いないいないばあに見られるように)隠れるから探す、探されるから隠れる、という乳児期由来の感情交流の対立行動傾向がずっと残り続けているのではないかという説です。これがあるために、年長児でも捕まりたくはないけれど相手には追いかけてもらいたい、見つかりたくはないけれど探してはもらいたい、という矛盾した心理が働くこととなります。そこで遊びの最中に、実際には追いかけてもらえないとか、探してもらえない、という事態が続くと、仕方なくわざと捕まろうとしたり、見つかるうとしたりするのであろう、と考えられます。このような心理傾向に着目することの意味については近著『子どもの心的世界のゆらぎと発達』(木下孝司・加用文男・加藤義信編著: ミネルヴァ書房、2011)で触れています。

本タイトルの論文は京都教育大学紀要119号に掲載されています。

京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

また、文中で紹介された『子どもの心的世界のゆらぎと発達: 表象発達をめぐる不思議』は図書館で所蔵していますので、ぜひご利用ください。(配架場所: 開架南館1階、請求記号: 376.11 || KI 46)

●京都教育大学附属図書館ホームページはこちらから <http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>

●携帯版図書館ホームページはこちらから

<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/m/mhome.htm>

右記のQRコードからも

アクセスできます



京教図書館 News No.136 (2012年1月号)

発行日: 平成24年1月10日

編集発行: 京都教育大学附属図書館

内容に関するお問い合わせ先: library@kyokyo-u.ac.jp